



# 都の西北

2024年(令和6年)10月1日

早稲田大学校友会 昭島稲門会会報 第14号



## 巻頭雑感 会長 梅田正宏

本年は自然の驚異に嫌というほど脅かされた年になりました。元日に発生した能登半島地震の記憶が冷めやらぬ内に南海トラフ大地震の注意報が発せられました。また経験したことのない連日の酷暑に悲鳴をあげました。国連のグテーレス事務総長が述べた「地球温暖化の時代は終わり、地球沸騰化の時代が到来した」という警鐘が大きさを感じられない程で、地球温暖化の対策は急務と実感させられました。

新型コロナの感染者は未だある程度発生していますが、ほぼ全ての社会活動は以前の状態に戻っております。昭島稲門会の活動も第39回定期総会(令和5年11月26日開催)は4年振りに周辺稲門会の皆様にも参加頂いて開催することが出来ました。稲門会活動も年間行事やサークル活動を活発に行っております。しかし昨今、参加者が固定化しているくらいがあります。新たな参加者をお待ちしております。



第39回定期総会



優勝パレードに出発

本年は特にスポーツ面で早稲田の活躍に胸が躍りました。

東京6大学野球春季リーグ戦では7季振りの優勝を飾り、久しくなかった優勝パレードに湧きました。夏の甲子園では、早稲田実業が9年振りに東東京代表で出場を果たしました。惜しくも3回戦で敗退しましたが、2、3回戦はタイブレークの熱戦で大いに楽しませてもらいました。

パリオリンピックでの学生や校友の活躍も忘れることができません。フェンシングのエペでスポーツ科学部卒の加納虹輝さんが、この種目で日本人初の個人金メダルを獲得しました。スポーツ科学部4年の留学生許海実(ホ ミミ)さんは母国韓国代表で女子柔道57kg級銀メダルを獲得しました。兄弟揃って連覇を目指した須崎優衣さんは1回戦でまさかの敗退。号泣する姿は涙を誘いましたが、敗者復活で見事に銅メダルを獲得しました。



加納選手

校友会三多摩支部の新たな活動についても少しご紹介します。三多摩支部は多摩地区26市の稲門会を3ブロック(西部、南部、東部)に分けて三多摩支部大会を輪番で担当しておりますが、ブロック内での交流は余り活発とは言えない状況です。そこで、昨年よりブロック交流会を開始し、より親密な交流の場を設けております。なお、当会はあきる野、青梅、国立、立川、羽村、福生、東大和、武蔵村山の各稲門会と共に西部ブロックを構成しております。

### <定期総会のご案内>

本年度第40回定期総会は以下により開催する予定です。会員のみなさんの参加をお願い致します。

1. 日時 : 2024年11月17日(日) 14:00~17:00
2. 場所 : 「フローラカルチャークラブ」 昭島駅 南口徒歩一分

目次	P1…会長挨拶 「巻頭雑感」	P3…会員の内藤俊一さんが絵本を刊行 「どうぶつむらのケンタくん」
	P2…サークル活動の紹介 カラオケ・ハイキング・ゴルフ・シネマの会	P4…トピック 「漫画 WOB さん」、稲門会活動の紹介

## ☆☆サークル活動の紹介☆☆

### カラオケ倶楽部

毎月月末の日曜日9時～12時まで、昭島駅北口『まねきねこ』222号室(会費850円)で開催していますので、奮ってご参加下さい。今回は『カラオケの心』を浅野さんに語って頂きます。(岩田記)



「法学部53年卒の浅野です。『カラオケの心』は共感性だと思います。その歌の時代や歌詞の内容、自身の状況、家族の状況、歌手の脚光・・・曲が流れだした途端参加者全てがその時代にフラッシュバックします。

また、寡黙になりがちな年代ですが、月に一度[大声を出す]ことはストレスの発散ばかりでなく、五感を活性化させます。タイムトリップが出来て健康にも良い、850円は大変お得です(浅野会員談)」

### ハイキング



ハイキングは春と秋の年2回開催しております。春はお花の咲くコース、秋は紅葉を愛でながらの軽いハイキングです。コースにより持参のお弁当を頂いたり、地元のお店で会食をすることもあります。

2024年の春は、あきる野の乙津花の里を約1時間半歩き、十里木にある料理屋『やまざき』で野菜料理と地酒『喜正』を味わい大いに歓談しました。

今年の秋は、奥多摩駅に近い氷川溪谷をハイキングし、民話の宿荒澤屋『あかべこ』で会食の予定です。

ここ数年間の実績

2021年:春 小峰公園～五日市 秋:五日市～広徳寺～戸倉 2022年:春 羊山公園～秩父 秋:白丸ダム～鳩ノ巣 2023年:春 高尾多摩森林学園 秋 御岳溪谷～玉堂美術館～澤ノ井園 (秋山記)

### ゴルフコンペ

春、秋の年2回、5月と11月に開催しています。場所は昭島から車で30分の「武蔵野ゴルフクラブ」で、自然豊かなゴルフ場です。車数台で乗り合わせて行きますので、足の心配もありません。ゴルフはもともとは牧童の遊びから発展したそうです。我々もその発祥



の精神に立ち返り、あまり厳しいルールにとられずに、とにかく楽しくプ

レイし1日怪我無く過ごせればと思っています。女性は当然レディースティー、そして男性も80歳以上の方はゴールドティーからのスタートを原則としていますが、足腰の調子が悪かったり、ドライバーの飛距離に自信のない方もゴールドティーからスタートされても問題ありません。春秋の清々しい1日を大自然を満喫しながら気の置けない仲間と白球(カラーボール)を追いかけようではありませんか。今年の秋のコンペは11月15日(金)に予定しています。(山中記)

### シネマの会

平成生まれの一番新しいサークルです。不定期の開催で、開催日の1～2週間前にアドレスの登録があるかたにメールで案内しています。案内メールがエラーで送付されない方も何人かいます。参加をしてみたいがメールが届いていない方は、正しいアドレスを申し出て



ください。[lko\\_daihyo@hotmail.co.jp](mailto:lko_daihyo@hotmail.co.jp)(平田)または最終ページ記載の幹事長の連絡先へ。受信拒否リストに入っていないかのチェックもお願いします。(平田記)

会員の内藤俊一さんが絵本を刊行

# 「どうぶつむらのケンタくん」

絵本に込めた思いや狙いをお聞きました

## ☆発端は

そもそも85歳になって絵本を書くことになったのは、私の呑み友達で、3年前に奥さんを亡くした方がおられて、その方が自分に癌が見つかり、前後して初孫が生まれるという事態になり、「この孫に何が残せるか？」を考えて、自分が絵を描くことが得意だったので、絵本を作ることを思い立ち、日頃居酒屋でホラを吹いていた私に話を持ち込み、絵本のストーリーを書いてくれと言って来たのが発端です。私も酔った勢いで安請負をしてしまったことからの始まりで、確かに居酒屋談義として教育論、特に幼児の教育が大切であることを言った記憶はありました。



## ☆なぜ動物村なのか

引き受けたのはいいが、特にアテがあつてのことではありませんので、取り敢えず、場所、時代、登場人物等を設定しなければなりません。対象年齢が4～7歳と考え、昔、私が孫たちを寝かせつけるのにアドリブで口から出まかせの作り話をしていたことを思い出し、その時は動物が主人公の話が子供に一番受け入れられたことを考え、主人公は日本古来在住の動物たちがいいのではと思い、必然的に舞台は日本の里山の村落ということになったのです。また時代も未だIT化以前の日本の50年前、テレビ電話はあるが、パソコンやスマホはなかった時代としました。

## ☆目的は

目的としては、話を持ち込んだ溝口さんと相談した結果、知育、徳育、体育の3育の中で、今一番欠けているのは徳育ではないかという事で意見が一致し、各話に徳目をイメージしながら16の話を創りました。これを4話ずつ4冊の絵本にするつもりで、また対象年齢は4歳～7歳、幼稚園の年中さんから小学校1、2年生を想定しました。話は出来たのですが、彼が絵にし

ようとしても中々難しく、自分で描くことをあきらめ、ご自分の絵の先生である田村正樹氏に依頼しました。田村先生はプロですので、美しい絵を描いてくれました。お陰様でこの4月に第1巻が刊行できました。

## ☆意図するのは

作者としての私が意図するところは、昨今の世相を憂える気持ちもあり、人間社会がどこへ行ってしまふのか心配なのですが、私自身変える力も時間もありません。せめて言い遺して置くことぐらいではという思いです。幼児教育は躰ということだろうと考えます。人間が複数生きていくためのルールを、幼児の頃は「べからず」で教え、やや理解力がついてきた児童には「・・・べき」で導くことが30年後の社会を構成するのに「必要な常識を共通する良質な市民を育む」ことになるのではないかと考えております。善悪の判断の共有が常識であり、これを世界中が共有できれば、ガザもウクライナも話し合えるはずです。世の中は、自分と他人達で出来ているのですから、自分以外から見れば自分は他人です。それをお互いに認め合うことからスタートしようではありませんか。また、校歌の一節「現世を忘れぬ久遠の理想」。目指すものは忘れないが脚元も見る、中庸の構えが大切だろうと考える昨今です。



今後第2巻は秋には出版出来ると思いますが、その後は私の体力、財力、田村先生の作画のペースで決まってくると思いますが・・・。

## ＜内藤俊一さんのプロフィール＞

1939年東京都小石川に生まれ、1962年早稲田大学理工学部建築学科卒業、1967年同大学工学修士、1977年琢建築構造設計設立、2020年建築構造設計引退、社会構造設計を勉強中

## ＜絵本のお問い合わせ先＞

080-2126-0151（問合せ専用ダイヤル）

サークル以外にも様々な活動が行われています

当会ではサークル活動以外にも年間をとおして様々な活動を行っています。また、近隣地域の稲門会との交流にも努めています。以下にその一端をご紹介します。



新春には恒例の「新春顔合わせ会」が開催されます。美味しいお酒を酌み交わしながら、1年の健康と幸せを願う集いです。今年は当会の会員で医師でもある山田氏に、「骨粗しょう症」について講演をお願いしました。

夏には「現役・OB交流会」が開催されます。若い学生たちとの会話が楽しい催しです。高齢者ばかりの行事が多いなかで若い人たちが参加する唯一の取り組みと言えます。



「三多摩支部大会」も夏に開催されます。各ブロックの稲門会が持ち回りで開催します。当会からも毎年、会長以下数名が参加しますが、総長から大学の取り組みについての講演があり、またアトラクションや懇親会もあって内容は盛りだくさんです。



「稲酔会」は、青梅線・五日市線・西武線沿線の稲門会員が対象で、ひたすら飲み駄弁ろうという催しです。今年は10月に開催されましたが、「嘉泉」の蔵元である「田村酒造場」が会場でした。お酒に自信がないと・・・。



9月になると「関東大学ラグビーの対抗戦」が始まります。大勢が決まる、日程終盤の早慶戦か早明戦を観戦します。今年は11月23日(土)、早慶戦を応援する予定ですが、昭島に帰ってからの翠鳳楼での祝勝会は盛り上がること必至。来年は是非一緒に。



編集後記

年明けの能登地震に始まり、台風や大雨被害も多く、加えて夏の猛暑も災害級でした。熱中症で亡くなられた人も多かったようです。私たち高齢者は年を重ねるとどうしても外出の機会が減りがちになります。皆さんにはぜひ、心身のリフレッシュのためにも積極的に稲門会活動に参加され、毎日を健康で元気にお過ごしください。(佐藤清)

# ワセダ オービーの W.O.Bさん

By みたけ たけし



▲ 漫画の作者は早大漫研OB

発行：早稲田大学校友会  
東京三多摩支部昭島稲門会  
<http://waseda.akishima-tomonkai.tokyo>

会長：梅田 正宏 電話 541-6008  
〒196-0031 福島町2-17-1  
[umeda-masahiro@luck.ocn.ne.jp](mailto:umeda-masahiro@luck.ocn.ne.jp)

幹事長：山中 皓博 電話 090-9953-7404  
〒196-0024 宮沢町2-14-39  
[yamanaka-akihiro@nifty.com](mailto:yamanaka-akihiro@nifty.com)